K-353

TKH

早坂台遺跡

昭和55年度発掘調査報告書

—第 1 集—

昭和５６年３月

立川町教育委員会

早坂台遺跡

—第 1 集—

早坂台遺跡の遠望（北方より）

昭和５６年３月

立川町教育委員会

例　　言

1．この報告書は，昭和55年７月14日から９月25日まで，緊急発掘調査を実施した山形県東田川郡立川町大字肝煎（きもいり）字早坂地内にある「早坂台遺跡」の発掘調査報告書である。

2．この発掘調査の体制は，次の通りである。

調査主体	山形県立川町教育委員会
指導機関	庄内教育事務所埋蔵文化財調査室
調 査 団	立川町教育委員会文化財調査委員
協力団体	松の木部落，鳥海砂利ＫＫ，ＫＫ斎藤組，小林建設ＫＫ
調 査 員	八木藤太（社会教育委員）
事務局員	今田幸雄（社教係長）　阿部金彦（教育委員会主事） 富樫恒文（社教主事）　石川精一（公民館主事）
作 業 員	早坂良治，近藤政昭，斎藤　悟，長南英一，渡部栄子，長南やよみ， 佐藤ふさ子，池田エミ，小林はる子，小林智慧子，原田春江，長南長作

3．遺跡のうち，発掘調査する面積600㎡（採土する面積10,150㎡）

4．発掘調査に当っては，調査室の川崎主査及び野尻，安部両技師より，懇切なる御指導を戴くことの出来て，幸いであった。

5．挿図の中の記号は，ＳＴ－住居趾，ＥＰ－柱穴，ＥＬ－炉趾，ＳＤ－溝趾，ＳＫ－土壙，ＳＭ－堆土，ＳＸ－不明な遺構として示した。

6．本書の執筆は調査室の指導のもとに，調査員の八木藤太が当った。

目　　次

1．遺跡の位置と環境……1
2．発掘までの経緯……1
3．調査の概要……2
（1）調査の方法……2
（2）発掘作業経過……3
（3）土層について……4
4．発掘調査の結果……5
（1）遺構と遺物の概況……5
（2）遺構について……6
（3）土器について……10
（4）石器について……12
（5）礫について……12
（6）残滓について……13
5．発掘調査のまとめ……13

挿図・図版目次

第１図　早坂台遺跡の位置と周辺……1
第２図　遺跡の発掘図……3
第３図　遺跡の近景……3
第４図　粗掘作業の状況……4
第５図　土層図……5
第６図　第三区１，２，３の検出遺構…6
第７図　土器の出土分布表……6
第８図　石器の出土分布表……6
第９図　遺構の検出分布図（一）……7
第10図　遺構の検出分布図（二）……8
第11図　遺構の検出分布図（三）……9
第12図　遺構の検出分布図（四）……10
第13図　出土した特殊石器……11
第14図　大石皿……12
第15図　据石の出土状況と砕片の集中…12
第16図　石神の上に置かれていた大石皿…13

図版１　土器（文様）……16
図版２　土器（文様）……17
図版３　土器（文様）と残滓……18
図版４　石器（石鏃，石錐，石篦，石槍，抉入石器）…19
図版５　石器（石匕，石鎌，石ごて，石のみ，円形石器）…20
図版６　石器（削器，掻器，打製石斧，礫器等）…21
図版７　石器（磨製石斧，磨石，凹石）…22
図版８　石器（石皿，石球，石棒，石神）…23